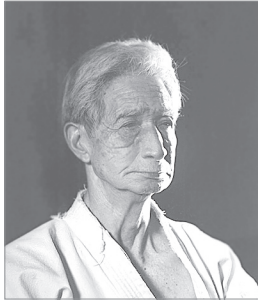


国際伝統空手連盟 (ITKF)



国際伝統空手連盟会長
西山英峻氏



ラホヤの海岸での早朝トレーニングで合宿が開幕



1974年より毎夏、カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) において開催されている ITKF の国際合宿



伝統空手の普及と発展に務める ITKF 会長西山氏による稽古



世界 15 か国 86 名の指導者が集った第 42 回国際合宿

International Traditional Karate Federation (ITKF)
1930 Wilshire Blvd., #1007, Los Angeles, CA 90057
☎ (213) 483-8262 / Fax: (213) 483-4060
www.itkf.org

2007年7月14日～20日、カリフォルニア大学サンディエゴ校にて

国際伝統空手連盟が第42回国際合宿を開催しました

国際伝統空手連盟 (ITKF) 主催による国際合宿が7月14日より7日間に亘り、カリフォルニア大学サンディエゴ校にて開催されました。同連盟のPRを担当している中村さつきさんと合宿参加者にお話を伺いました。

◎ ITKF の目的とは何ですか

同連盟は1974年に西山英峻氏により伝統空手の国際統括団体として設立されました。同氏の指導のもと、伝統空手の国際的な普及と発展、各国の加盟団体およびメンバーの交流を活発化することにより、人間性の形成に欠かせない武道精神の発展に寄与することを目的としています。

◎ ITKF の活動について教えてください

国際伝統空手選手権大会、国際空手ワールドカップ、その他の地域競技会などの大会を開催する一方、試合ルールの検討・制定、伝統空手の技術の標準化、指導者・試合審判の育成および認定などを行っています。近年では、武道空手に対する興味は世界的にも高まってきており、ITKFの加盟団体は世界72か国に広がり、約70万人の会員が伝統空手の技術・精神の追求に励んでいます。

◎ 武道とスポーツの違いについて教えてください

スポーツの場合、競技ルールそのものがそのスポーツの定義と理解できます。また、種目別あるいは重量別に競技を行ったり、細分化されたポイントを合計して勝敗を決定することも、多いようです。

一方武道では「試合」の思想が競技の基礎になっています。試合とはお互いに自己を試すことに他ならず、勝敗を決定する、記録を作るといったスポーツの競技とは本質的に異なります。

また、スポーツでも武道でも試合のマナーは大切ですが、武道の試合の場合、試合相手は自己の技量を試してくれる師であるゆえに礼儀を重視します。これに対し、スポーツ競技のマナーは互いにルールを重んじてプレーを行うことに対する敬意と友好のための自主的なもので、武道の礼儀とは本質的に異なります。

◎ 武道が日本国外で急速に広がった理由は

次の2点が考えられます。このような武道の特色が第二次世界大戦後の荒廃した社会に生きる人々の心を捉え、空手も急速に世界へ広がっていきました。

- ・ 武道の修行により、筋力の小さな者（体の小さな者）でも、大きな者を制する力を得ることができる。
- ・ 武道の修行では戦わずしての勝ちを目指すので、精神力の強化が図れる。

◎ 空手の国際化とオリンピック参加について教えてください

世界の空手は1970年ころ大きく2つに分かれました。ひとつは突き・蹴りの技巧を重視した競技でオリンピックへの参加を志向するグループ、もうひとつが武道の試合を基礎とした競技でオリンピックへの参加を志向するITKFです。これに対し国際オリンピック委員会 (IOC) では、オリンピック参加のためには、このふたつのグループがひとつになることを要求しています。しかし、それぞれのグループで競技への理解が根本的に異なるため、このふたつの空手がひとつに統合する見通しは今のところありません。

◎ 米国における ITKF の活動について説明してください

米国の伝統空手諸団体はITKF傘下の全米アマチュア空手連盟 (AAKF) によって統括されています。AAKFはスポーツ統括団体に関する米国の法律に基づいて設立された公益法人で、伝統空手を通じて米国民の心身の発展に寄与する一方、当地での伝統空手の水準を維持し、それを次世代に引き継いでいくことを使命としています。現在、

幼稚園児からシニアまでの男女約20,000人が伝統空手を学んでいます。

今年の4月にはAAKFの西部地区大会がサンディエゴ市内のClairemont Salvation Army Gymnasiumで開催され、子供を含めサンディエゴの選手も多数参加しました。現在、サンディエゴ地域で活動しているAAKFインストラクターは2名、合計で約80名のサンディエゴ市民が伝統空手を学んでいます。

◎ ITKF の国際合宿について教えてください

国際合宿は1974年より毎夏、カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) において行われています。西山会長はかつて同校のPhysical Educationの授業で伝統空手を指導、UCSD Karate Teamのコーチをしていたため、全米合宿は1964年から行われていたのですが、これが発展したのが現在の国際合宿です。合宿には毎年世界各国から、空手の指導者が80～100人ほど参加します。UCSDの空手クラスは、最盛時には300人もの学生が履修していたようですが、レーガン州知事時代に正課体育の廃止にともない、なくなってしまいました。しかしその後も、伝統空手はレクリエーションとして続けられています。

◎ 今年の国際合宿についてお話しください

今回の合宿には、男性69名、女性17名の合計86名が参加しました。アメリカはもちろん、カナダ、ポーランド、イタリア、ドイツ、南アフリカ共和国など様々な国から空手の指導者が集まりました。

合宿初日はラホヤの海岸で1時間ほどの早朝トレーニングを行いました。その後、UCSDの体育館で毎日6時間ほど稽古をしました。さらに合宿中には、指導者や試合審判の認定試験も実施。そして、最終日の前日には合宿参加者代表による親善試合、続いて大学寮でパーティーも開催しています。合宿最終日には、初日と同じくラホヤ海岸での早朝トレーニングを行い、修了証書の授与と閉会式を執り行ないました。

合宿は、空手の技術的な鍛錬はもちろんのこと、寝食を共にすることで参加者間の一体感を育むという点に大きな意義があります。毎年参加する会員も多く、遠くに住む仲間たちと再会することも合宿参加の楽しみのひとつになっているようです。

◎ カナダから参加したミシェル・クリッチさんの感想

「ヘアスタイリストとして生計を立てる一方、3か所にあるカナダの道場で合計106人の生徒たちに空手を指導しています。空手歴は22年。ITKFの夏季合宿に参加するのは4回目で、私自身の空手の技術を高め、空手への理解を深めるために参加しています。ここで体得したことを生徒たちに伝えることを重要な使命と考えています。合宿で西山先生の指導を受けると分かるのですが、どういう練習をすれば私たちが次のレベルに到達できるか、本当によく理解していらっやいます。また、先生のお話を聞くことにより、伝統空手や武道のコンセプトをより正確に理解することができることも、合宿に参加する大きな理由になっています」。

◎ ポーランドから参加したクチェンスキーさんの感想

「ポーランド伝統空手連盟の会長および、欧州伝統空手連盟の副理事長を務めています。空手歴は36年。合宿には1990年から連続18回参加しています。毎年2月には西山先生のロサンゼルス道場でポーランド選抜チームのトレーニングも行っています。今回はポーランドの選手10人を引率してきましたが、全員なんとかサバイバルできたようなので満足です。ポーランドには伝統空手の道場が200ほどあり3万人が学んでいます。今回の合宿で得たことを、その生徒たちに熱く伝えていきます」。